



令和 8 年 9 月 1 日

発行者 横浜市立篠原中学校

校長 濱崎 利司

9 月号

ひまわり
向日葵 その後…



夏休み中の7月28日16:27頃、熊本県を震源とするM7.1の地震が発生し、宇城市と氷川町で震度7を観測したほか、気象庁は「令和8年熊本地震」と命名しました。また、8月23日未明、関東地方では茨城県を中心に震度5弱を記録しました。

地震の他に台風や豪雨も記憶に新しいところです。雨が多かったこともあり、向日葵は右の写真のように高さ3m以上と順調に生育しました。今後は種を収穫し、来年の「しのはら仙台プロジェクト」に繋げ、また大きな花を咲かせてほしいと思います。来年の生徒会役員生徒の皆さん、“応援”をよろしくお願いします。

さて、夏休み中には担当業者による複数の工事が行われました。一つはサポートルーム (SR) 拡張工事です (下2枚の写真)。これまでSRは保健相談室を充てておりましたが、希望生徒が増えたこともあり、手狭になっていました。安全・安心な学校生活を目的に、隣の地域本部室 (PTA室) と一部屋にする工事 (壁の撤去) を予定し、教育委員会事務局所管課と相談・連携して夏休み中の工事に着工しました。夏休明けにはSRでは広々と生徒が使用することができます。また、今後の工事として室内を分離する仕切りを設置する工事も行い、地域本部とPTAが共用できるようにします (夏休明け共用可)。もう一つはグラウンドに降りる階段の工事です。階段は3箇所ありますが、今回“ラスト”の予定です。というのも他2箇所は既に補修が終わっています。今回は真ん中にあたる階段の欠損部分を直しました。階段が破損や欠けていると昇降時に怪我をする等危険です。これも学校生活の安全・安心のために目立たないけれど、大事なことです。補修箇所は来年の体育大会での見学時に確認してください。

あと、夏休中に嬉しいニュースがありました。それは吹奏楽部が念願の「東関東大会」出場を決めたことです。吹奏楽の大会は夏季休業中に市大会から県大会と続き、本校は演奏参加生徒が50名以内の編成であるA部門で、県で上位9校に入らないといけません。また、強豪校は例年決まっており、その一角に入って東関東大会に出場することは“至難の業”と言えます。ここまで吹奏楽部に関わった先生方と金賞に輝いたものの、東関東大会出場があと一歩で、無念の涙を流した先輩たちの想いを繋げることができました。吹奏楽部の皆さん、おめでとう。今後、「新横浜パフォーマンス」でのファンファーレ等各所で素晴らしい音色を響かせてください。そして、9月6日 (日) 栃木県宇都宮市での東関東大会での健闘を祈ります！

改修 (壁撤去) 後のSR (教育相談室から撮影)



(地域交流*PTA室から撮影)



君を忘れない



私にはインスパイアされた先生が3人います。一人目の先生は私が働き始めた新人の頃、教師としての心持ち、生徒への接し方、生徒と共に成長していくことなど、教師として必要なことをすべてを学びました。そして、教師としての成長期に、二人目の先生と出会い、一緒に働くことで「こんな先生になりたいな」と感じさせてくれました。そして三人目の先生は…平泉玩助先生です。…私が教師になるきっかけとなった先生です。彼は東京都にあるあやめ台小学校の先生でした。いつも生徒に寄り添い、生徒と共に笑い、泣き、感動し、成長していく先生でした。彼に出会ったのは私が高校3年生の頃でした。チャンネルはフジテレビでした…それは「みにくいアヒルの子」というドラマでした。そのドラマに感化された私はビデオを買い、何度も何度も見返しました。そして、子ども達が野球の試合を見て野球選手に憧れるように、ライブを見てアーティストに憧れるように、私はこのドラマを見て教師になりたいと思ったのです。教師になってからも困難にぶつかったり、なやになんてなってきたり、フレッシュな気持ちを取り戻したいときにはこのドラマを見返してきました。しかしここ十数年、VHSを見るビデオデッキがなくなり、見るができなくなりました。しかし今年の夏、試行錯誤の末、全12話を一気に見しました。やはり大切なことは初心です。働き始めたあの頃の気持ちを忘れてはいけないと感じたのです。

さて、みなさんはどうでしょう？ 1年生は中学校に入学して半年近くが経ち、2年生は中学校生活のちょうど折り返し地点。3年生は、中学校生活も残すところあと半年ほどになりました。今こそ入学当初の気持ちを思い出すときです。ブカブカの制服に身を纏い、そこから始まる中学校生活に胸を躍らせながら部活や勉強、学校行事など、すべてのことに全力で取り組み、友達と楽しく過ごし、団結力のあるクラスを作って、キラキラした中学校生活を送るぞっ!とわくわくしながら登校してきたことを思い出しましょう。「その時の気持ち=初心」を忘れないでください。ここでもう一度初心を思い出し、わくわくしながら登校し、キラキラした中学校生活を送りましょう。「初心忘れるべからず」。初心でいるということは素直に吸収していくということ。何事にもプラスのイメージを持つということ。すべてのことに全力で取り組むということ。



これからは、夏休み明けの勉強、定期試験、合唱コンクール、学校行事、受験、そして卒業式など、たくさんのことが立て続けにやってきます。初心(=素直に吸収、プラスのイメージ、全力で取り組む)をもって臨めば、きっとうまく行く。乗り越えていける。結果もついてくる。私も新しい環境になり、もう一度気を引き締めるため、みんなと共に笑い、泣き、感動し、成長していくために、みにくいアヒルの子を見返しました。夏休みも終わり、再び学校生活が始まりました。ここからまた、一緒に全力で突っ走っていきましょう!

(副校長・石井 亮)

もうすぐ定期試験です

学校事情により予定が一部変更されましたが、いよいよ9月8日～10日の3日間で第2回の定期試験が行われます。今回のテストは「理科・国語・保健体育・数学・技術家庭・音楽・社会・英語」の8教科です。夏休みの成果を発揮するがごとく最後まで頑張ってください。